

## 疫病退散の願いを込めて

疫病退散アマビエ切手・マスクの寄贈

12月16日、豊浦・大岸・礼文華郵便局より、マスク3箱とオリジナルフレーム切手「疫病退散アマビエ」の寄贈がありました。

アマビエは疫病をおさめると伝えられる妖怪で、新型コロナウイルス感染症の沈静化の願いを込めてこの切手が作製されました。新型コロナウイルスに負けるな！の言葉とともに、手洗いうがいや荒波に立ち向うアマビエの姿などが描かれています。

寄贈いただき、ありがとうございました。



▲豊浦・大岸・礼文華郵便局長より寄贈いただきました

## 清水信男さんが優秀賞受賞

「森と人を育てるコンクール」表彰伝達式



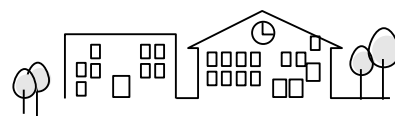
▲賞状を受け取り記念撮影をする清水信男さん(中央右)

12月22日、町長室にて「森と人を育てるコンクール」表彰伝達式が行われ、清水信男さんが優秀賞を受賞されました。

模範となる優良林分を育てている森林所有者および木育活動の実施者を表彰するもので、清水さんは町内に約290haの山林を所有しており、そのうち大岸に所在するトドマツ40年生、0.6haが受賞対象となりました。現在も毎日のように早朝から山へ赴き、自ら枝打ちなどの手入れを行っています。

この度は受賞、おめでとうございます。

## 地域おこし協力隊の活動日記



文 / 生島 亜由美 隊員

なんかいいなあと体験移住で感じた豊浦町。実際に住んでみると、おいしくて新鮮な食べ物があり、四季が感じられる自然豊かな環境で、一生懸命でパワフルな人がいっぱい住む町だと知りました。そして、この町に住む人の色々な知恵や工夫がある暮らしを含め、この三年間で豊浦町の良さをたくさん知ることができました。農家さんに作業を教わったり、周りの方に助けていただいたりと与えてもらうばかりの活動期間でしたが、地域の皆さんのさまざまな場面で助け合う姿や協力し合う姿を見て、これからは自分もそうやっていきたいと思いました。

今年度は野菜の収穫があったり協力隊みんなで花壇を整備したりと、いちご分校の動きもたくさんありました。春にはいちごが実り、研修生による収穫がスタートします。かわいらしい深緑色の看板もあるので、近くに来られた際は見てみてくださいね！最後になりましたが、お世話になった皆さん三年間ありがとうございました。



▲ビニールハウス内でいちごの収穫をする生島さん

協力隊の活動はフェイスブックで発信中です！

 Facebook

<https://www.facebook.com/toyoura.chiikiokoshi/>